

## 16 成城学園祭

- 【日 時】 平成 29 年 11 月 2 日（木）～3 日（金）10：00～15：30  
【場 所】 東京都世田谷区成城学園  
【内 容】 以下のとおり

11 月 2 日、3 日に成城学園で行われた成城学園文化祭に、長野県ブースの一員として参加をしました。これは木曽産ヒノキ製の机・椅子の展示を通しての木曽産木材の PR を目的としたもので、長野県に協力する形で出店しました。

木曽広域連合では特産品、木工製品の販売と観光パンフレットの配布による観光案内、木曽産ヒノキ製机・椅子の展示による木曽産材の PR を行いました。

特産品の販売では、郡内事業者（ふるさと体験館、HIF、小池靴店、ひまわりマーケット）に協力をいただき、開田高原の新そばや定番のゴフレット、話題のえゴマ商品、飲むヨーグルトなどの乳製品に加え、今年初物のすんき漬けの販売を行いました。

その中でもすんき菌を使った植物性由来の乳酸菌を原料とした飲むヨーグルト「スンキー」は人気が高く、多くの皆さんに興味を持っていただくことが出来ました。また、開田高原の蕎麦は今年の新そばを持って行きました。今年の年越しそばにと購入されるお客様もいらっしや、2 日間で完売する事が出来ました。その他、木曽地方に古くから伝わる「すんき漬け」については、今年の新そばを持って行きました。興味を持って購入していただける方もいらっしやいましたが、独特な匂いに好みの分かれる結果となりました。全体としましてほとんどの商品を完売することが出来ました。

木工製品については昨年、製品の価格帯が高く売れ残りが多かった反省点を元に、今年は菜箸や寿司桶、ひのき箸などの台所用品を中心に比較的安価な商品を販売しました。台所用品が多かったこともあってか、主婦の方を中心に購入される方が多く、昨年よりも多くの商品を販売する事が出来ました。

観光・木曽産材 PR について、机・椅子の展示では、親子連れの方を中心に多くの皆様に興味を持っていただき、多くの方が足を止めて下さいました。

長野県ブースでは他にも、中川村、小谷村、野沢温泉村、小川村が地元の特産品の販売・観光 PR を、長野県林務部で木曽檜の箸づくり体験を行いました。中川村は地元産のリンゴなどを販売していましたが、お客様の目を引くディスプレイを作り集客を行っていました。

所感としては昨年に比べてお客様は少ないように感じましたが、取り扱う特産品の種類を多くしたことで結果的に多くの商品を完売する事が出来ました。ただ、その一方でえゴマ関連商品やすんきなどのテレビで取り上げられた商品の知名度が低く、意外な印象を受けました。

また、昨年に引き続き、長野県に協力する形で木曽産材 PR を目的として出展しましたが、来年以降はその効果もふまえた上で出店を検討する必要があると感じました。

◎ 当日の様子



木曽広域連合ブース（特産品販売）



木曽広域連合ブース（木工製品販売）



学園祭本番の様子（木曽広域ブース）



長野県箸づくりブース（長野県林務課）



中川村ブース



長野県ブース（カボチャの重量当てクイズ）